

上尾道路・新大宮上尾道路計画に伴う道路整備について

橋本 祐一 (令和研究会)



問 上尾道路・新大宮上尾道路が国道17号バイパスまで延伸された時の準備、整備が必要。その際に特に重要となり交通量が増大されることが予想される南大通り線壮幸会行田総合病院から国道128号を抜けて国道125号線までの、特に歩道や交差点整備が必要と考えるがどうか。

答 国道125号下池守交差点から南に進み、忍川秩父鉄道を横断し国道128号城西交差点を抜けて国道17号熊谷バイパス持田中交差点を經由してさらに南へ進み前谷地内のがんがら排水路の大橋までの通称南北道路について、国道道を結ぶ市の交通を担う重要な路線と認識している。

これまで両側歩道の整備や国道道などの交差点改良を実施し秩父線踏切拡張事業に合わせて踏切南側一部区間で歩道整備を実施したが、国道128号以北一部未整備がある。今後の交通量の推移や交通安全の観点を踏まえ、幹線道路のネットワークの充実を図っていく。

市の地域防災に対する取組について

駒見 行彦 (令和研究会)



問 避難所生活が長期化する場合に設置される避難所運営委員会を模擬訓練等で開催したことはあるか。

答 避難所開設訓練を実施したことはあるが、運営委員会の模擬訓練を行ったことはない。昨年度から市職員、自治会役員等を対象とした研修会を実施。来年1月に「HUG（避難所運営ゲーム）」の実施を予定している。

問 それぞれの自治会で行われている防災訓練の内容がばらばらであるため、統一性のある防災訓練を作った方が良いのではないか。

答 自治会の役員と相談し訓練を実施しているが、統一できるか検討していく。

問 東日本大震災を経験した気仙沼市ではやはり訓練が大切であるとのこと。市民の命や、そこで活動する市職員、消防職員等の命を守るためにも地域を巻き込んだ訓練が必要ではないか。

答 危機管理課の職員を中心に地域、自治会を通じて訓練等を検討していきたい。

日本遺産「足袋蔵のまち行田」認定継続について

岩崎 彰 (蒼倫維新)



問 昨年12月1日、文化庁より二つの条件が付され本市の日本遺産は継続された。2年後に迫る再審査に向け対応は進んでいるのか。

答 日本遺産カード、英語版パンフレットや解説動画の作成等市の魅力発信の取組や文化財の積極的な活用に取り組み概ね予定通りに進んでいる。

問 市が文化庁に提出した地域活性化計画では令和6年度には旧荒井八郎商店の具体的な活用策を図るとあるが、認定継続に影響はないか。

答 旧荒井八郎商店の保存活用は同計画に記載した多くの事業の一つで、事業の一つの遅延が即座に全体に影響を及ぼすことはないと考ええる。

問 文化庁より百年フードに認定されたフライ・ゼリーフードを百年後にも残るソウルフードとするために市はどのような業界を応援するか。

答 市とおもてなし観光局のHP、パンフレット、SNS等を活用し情報発信を行うほか、国・県等が実施するイベントに積極的に参加していく。